

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスまいまい1

公表日 R6年3月25日

利用児童
数 26

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2		1	限られたスペースの中で、部屋にいる子と外に出る子と分けたり、工夫をされている。	設置基準を超えた広さは確保していますが、子どもの人数が多い時には狭いと感じる事があります。ただ、まいまいでは静と動のメリハリをつけた活動を大切にしており、室内では気持ちを落ち着かせ課題に取り組むよう、広すぎない方が良いと感じます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		1		職歴、資格等は、年度初めのまいまいだよりの職員紹介欄に記載しています。基準の人数を配置し、条件を満たす加算を頂いています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20					屋外入口の段差については、簡易スロープを設置し対応しています。トイレ以外は段差のないバリアフリーになっていますが、トイレは構造上段差が出来てしまいますので、両側に手すりを設置し、便器前にも折り畳み式の手すりを設置しています。また、利用する際には職員が付き添い安全に配慮しています。生活空間は、学習室（個別課題・製作・おやつなど）とプレイルーム（自由遊び・帰りの会など）で活動を分けて行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20					子どもたちが帰った後におもちゃ・施設内外・玄関内外・送迎車などのアルコール消毒を行っています。また、前述の通り生活空間は、活動に合わせて分けています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				常に特性を理解し、支援の為に勉強されていて頭が下がります。子どもの事をよく見て理解してもらっている。	言語聴覚士の助言指導、また県主催の研修などで学んだことなども取り入れ、支援を行っています。また写真カード・絵カード・予定表なども使い、子どもの特性に応じた支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20					作成した支援プログラムをホームページに公表しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					半年に1度の面談や日々の連絡帳などご家庭と情報交換をしながら個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		ガイドラインの内容を踏まえ、保護者との面談・児童の状況を鑑みて作成を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					面談時などに個別支援計画の説明をさせていただいております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				時期や季節によっても工夫されている。	帰りの会で行うゲームなども一週間を通して行う事で理解や習熟も進んでいきます。また製作や行事も季節ごとに変えて行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	5		9	特にそれを求めています。コロナなどもあり、地域の子との関りはほぼないかと思います。必要性を感じていません。	近隣の公園に行くと、地域の学童の子どもや近所の子ともたちと会って、挨拶を交わすことはあります。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					契約時や支援計画書・連絡帳・代理受領通知書などを通してお知らせしています。ご不明な点はお問い合わせください。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				面談でもらえている。	半年に1度の面談でお伝えしています。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19				チラシ等をいただいている。	ペアレントトレーニング指導者養成研修修了者がいるので、面談などの助言に活かしています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができてきていると思いますか。	20				OT・STを受けた時に動画を送って見て頂いている。連絡帳でやり取りしている。	連絡帳や必要に応じて電話でお伝えしております。また、面談などの機会を通して共通理解出来るようにしていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					連絡帳に分かりやすく記入してもらっている。面談時に聞きたいことを詳しく教えてもらっている。	定期面談の他に必要に応じて面談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	1	4		兄弟向けのイベントは現状ないと思うが、通所している保護者からの要望がないのであれば問題ないと思う。	卒業生の保護者による講演会及び保護者会を行いました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20						苦情受付担当、解決責任者を選任し、契約時にお伝えしています。その他お問い合わせなどを受けた時は、迅速に対応出来る体制を整えています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20						子どもや保護者の方の状況に応じて絵カードや写真など、視覚的な情報伝達方法などを使用したり、配慮をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20						週の活動を紹介する「今週の活動について」を発行しています。「まいまいだより」と共に今後も続けていきます。今回の保護者アンケートの結果も職員評価と共にホームページに公表します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20						施設の出来る書庫で保管すると共に処分の際はシュレッダーで裁断し破棄しています。また、外部漏洩防止の為、全職員と個人情報保護に関する誓いの取り交わしを行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1					年度初めにマニュアルを配布しておりますのでご確認ください。お手元に無い方はお知らせください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1					学期に1回、様々な災害を想定し実施しています。連絡帳やおたよりを通して、訓練の内容・様子についてもお知らせしていますのでご確認ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20						安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。今後、ホームページに掲載する予定です。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1		まだ事故・怪我等が起こった事が無い為。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20						引き続き、安心感を持って通ってもらえるような支援をしていきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20					いつも楽しく利用させて頂いております。楽しく通所しています。毎回とても楽しみにしているが、「今日は1?2?」と楽しみにしている。	楽しみにしているとの声を頂きありがたく思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					大満足です。	皆様から頂いたご意見を参考にし、職員皆でより良い支援が出来るよう今後も考えていきたいと思っています。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービスまいまい2		公表日 1/15/2025		利用児童数 2025/1/15 名		回収数 28名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	4		3	限られたスペースの中で、部屋にいる子と外に出る子と分けたり、工夫をして頂いている。 高校生まで利用するのでもう少し広いスペースが良いのかと思う。 充分な広さだと思う。	設置基準を超えた広さを確保していますが、まいまい2は高学年の子が多いので少し狭いかなと思うことはあります。ただ、まいまいでは静と動のメリハリをつけた活動を大切にしており、戸外などの動きの活動を充実させると共に、室内では気持ちを落ち着かせ(このためには広すぎない方が良いと感じます。)、課題に取り組むようになっています。学習するグループと外出するグループを分けて静かな環境で学習ができるように配慮しています。今年度も、コロナ対策として、窓を開けて換気をする、席を離して座る、外出を多くするなど対応を行いました。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1		3	基準より多くの先生がいて、先生が休む際も人数的にカバーされている。 意識の高さを感じる。	職歴、資格等は、年度初めのまいまい2の職員紹介欄に記載しています。基準の人数を配置し、条件を満たす加算を頂いています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	2		2	見通しが良い環境であると思う。 2階でエレベーターがないので利用者が限られてしまう。 階段が薄暗いので見えづらい。	ビルの2階でエレベーターがないという施設です。ですのでの通所希望の方を受け入れることはできません。室内もトイレ洗面所以外はバリアフリーとなっていますが、洗面所に入る時には比較的高い段差があります。手洗い、トイレの時には職員が付き添うなど安全に配慮していきます。また外階段は朝の白などは特に滑りやすいので、声かけや見守りなどをを行います。夕方の帰宅時は足元が不安な子には、懐中電灯を使用して安全に配慮します。まいまい開業時から施設点検表を作成し、子どもたちが来る前に施設設備、遊具などの点検を行っていますので今後も続けていきます。面談時などに施設を再度見て頂き、気になる点はお知らせください。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1			整理整頓され、いつもキレイにしている。	子どもたちが帰った後におもちゃ・施設内外・玄関内外・送迎車などのアルコール等で消毒を行っています。また、前述の通り生活空間は、活動に合わせて分けています。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1			本人の事をよく見て理解してもらっている。 先生方こそがまいまいの一番の強みだと感じている。	言語聴覚士の助言指導、研修などで学んだことなども取り入れ、支援を行っています。予定表なども使い、こどもの特性に応じた支援を行っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26			2			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	28				近未来のことだけでなく就労などを見据えたアドバイスが勉強になる。	半年に1度の面談や日々の連絡帳などご家庭と情報交換をしながら個別支援計画を作成しています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28			1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28				時期や季節によっても工夫されている。 平日も土曜日も内容が変化に富んでおり、製作は秀逸。	帰りの会でゲーム等も一週間を通して行うことで理解や習熟も進んでいきます。季節の行事、誕生日も大切にしています。コロナ禍で中断していた3施設合同行事も行いました。市のイベント、作品展、様々な公園、児童センター、水族館、科学館、福祉系犬	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	7	1	7	特に求めていない。	近隣の公園に行くこと、地域の学童の子どもや近所の子どもたちと会うことはあります。児童館も利用しています。	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28				利用者負担等の改正はわからないことがあるが利用する側の追求認識によって差があると思う。	支援計画書や連絡帳、代理受領書などを通してお知らせしています。ご不明な点はお問合せください。		
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28				面談でしてもらっている。			
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1		1	チラシ等をいただいている。 コロナ禍を経て保護者会が復活し有難い議事録が特に助かる。			
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28				OT・STを受けた時に動画を送って見て頂いている。 連絡帳でやり取りしている。いつもありがとうございます。	今後も連絡帳や送迎時、面談などの機会を通して共通理解できるようにしていきます。		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28				面談の機会があり有難い。	定期面談の他に、ご希望に合わせて、随時、面談を行いました。今後も何か気になることなど、ご相談頂ければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28				とても思う。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	4	1	5	きょうだい同士の交流があるのかわからない。 保護者会の開催が有難い。 きょうだいへの支援はあっても行きたくないと思う。	卒業生の保護者による講演及び保護者会を行いました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		1	学校生活のことが連絡帳でやり取りできている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28				連絡帳にいつも詳しく書いて頂いて助かる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28				すぐ丁寧で詳しいお便りをくださりわかりやすいです。 活動内容のお知らせは写真が沢山あり、とても良い。サービスの事を良く知らない父親もこのお知らせを通してどんな活動をしているのかわかることができている。 毎週の活動報告が写真が多く、カラーですごく良い。	週の活動を紹介する『今週の活動』を発行しています。まいまいだよりと共に今後も続けていきます。ホームページ上には行事などの様子を更新できませんでした。また年度当初には、利用マニュアルを配布しています。今回の保護者アンケートの結果を基に、まいまいの対応についてこの誌面とホームページでも公表します。職員による評価も公表します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1		1		個人情報に関する書類は、施錠のできる書庫で保管すると共に、処分する場合は、シュレッダーによる細断を行った上で廃棄しています。また、外部漏洩防止の為、全職員と個人情報保護に関する書面の取り交わしをしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	1				年度初めにマニュアルを配布していますのでご確認ください。お手元がない方、不安な方はお知らせください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1		5	利用自体が少ないためわからない。	学期に1回、様々な災害を想定し、実施し、消防署にも届け出ています。連絡帳やおたよりを通して、訓練の内容、様子についてもお知らせしていますのでご確認ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			1		感染症や事故などすぐに公表しているので信頼できる。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28				学校が不安定な時もまいまいではリラックスできていた。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	1		1	まいまい1にも通っているが、「今日は1?2?」と楽しみにしている。時期にそうでない時がある。 手先を使う作業など楽しくできるようにして頂き感謝している。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	28				大満足です。 きめこまやかな対応に安心して預けることができている。 とても満足している。まいまいで良かった。 いつもこまやかな配慮とあたたかい支援をありがとうございます。	学校と違って、子どもの年齢や状況、通所回数など様々で、支援内容を考えるに当たって難しい面もありますが、皆様から頂いたご意見を参考にし、職員皆で、より良い支援ができるように今後も考えていきたいと思っています。またご意見等お寄せください。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスまいまい3

公表日 R6年3月31日

利用児童
数 26

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1		4	十分な広さだと思います。	設置基準を超えた広さは確保していますが、子どもの人数が多い時には狭いと感じる事があります。ただ、まいまいでは静と動のメリハリをつけた活動を大切にしており、室内では気持ちを落ち着かせ課題に取り組むよう、広すぎない方が良くも感じます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1	たくさんの先生方に見ていただいていることが伝わってきます。	職歴、資格等は、年度初めのまいまいだよりの職員紹介欄に記載しています。基準の人数を配置し、条件を満たす加算を頂いています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	4		5		扉外入口の段差については、手すりを設置し対応しています。トイレ以外は段差のないバリアフリーになっています。 生活空間は、学習室（個別課題・製作・おやつなど）とプレイルーム（自由遊び・帰りの会など）で活動を分けて行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1	いつも清潔にされているなと思います。	子どもたちが帰った後におもちゃ・作業用品・施設内・玄関内外・送迎車などのアルコール消毒を行っています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			1	まだまいまい3に通い始めたばかりですが、子供をよく理解して頂いていると思います。	県主催の研修などで学んだことなども取り入れ、支援を行っています。また写真カード・絵カード・予定表なども使い、子どもの特性に応じた支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1		作成した支援プログラムをホームページに公表しています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				面談は、相談しやすいので子供の色々な側面が分かる。こちらからの願いだけでなく、将来を見据えたアドバイスがありがたいです。	半年に1度の面談や日々の連絡帳などご家庭と情報交換をしながら個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					ガイドラインの内容を踏まえ、保護者との面談・児童の状況を鑑みて作成を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					面談時などに個別支援計画の説明をさせていただいております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				様々なことを体験させていただいていると思います。	行事も季節ごとに変えて行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	7	2	5	特に望んではいません。	児童館の利用はありますが、同級生にあまり会いたくないと言う子が多いので、あまり関わりを持たないようにしています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					契約時や支援計画書・連絡帳・代理受領通知書などを通してお知らせしています。ご不明な点はお問い合わせください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					半年に1度の面談でお伝えしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1		4	色々な講演会や勉強会のチラシをいただいています。	県や市から送られてくるお知らせお伝えするようにしています。研修で学んだことを活かして面談などで助言させていただいています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていますか。	20				連絡帳に記載した内容に、迅速に対応してく れる。	連絡帳や必要に応じて電話でお伝えしており ます。また、面談などの機会を通して共通理 解出来るようにしていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	17	2		1	面談がとても勉強になります。	定期面談の他に必要に応じて面談を行って います。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				1	とても感じます。	困りごとがあれば聞き取り、学校の様子と合 わせてどうしていくのが良いのか職員間で共 有しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか 。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい 同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされ ていますか。	11	6	1	2			卒業生の保護者による講演会及び保護者会を 行いました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備さ れているとともに、こどもや保護者に対してそのような場がある ことについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されていますか。	19				1	学校での悩みを、LINEでさせて頂い たところ、すぐに相談にのってもら い助かりました。	苦情受付担当、解決責任者を選任し、契約時 にお伝えしています。その他お問い合わせな どを受けた時は、迅速に対応出来る体制を整 えています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ ていると思いますか。	20						子どもや保護者の方の状況に応じて絵カード や写真など、視覚的な情報伝達方法などを 使用したり、配慮をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護 者に対して発信されていますか。	18	1			1	いつも連絡帳や、お便りでお知らせ 頂き助かります。	週の活動を紹介する「週の活動について」 を発行しています。「まいみだより」と共 に今後も続けていきます。今回の保護者アン ケートの結果も職員評価と共にホームペー ジに公表します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20						施設の出来る書庫で保管すると共に処分の際 はシュレッダーで裁断し破棄しています。 また、外部漏洩防止の為、全職員と個人情報 保護に関する書面の取り交わしを行っていま す。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯 マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知 ・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されて いますか。	18				2		年度初めにマニュアルを配布しておりますの でご確認ください。お手元に無い方はお知ら せください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練が行われていますか。	14	1			5		学期に1回、様々な災害を想定し実施して います。連絡帳やおたよりを通して、訓練の 内容・様子についてもお知らせしていますの でご確認ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知さ れる等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると 思いますか。	18				2		安全計画を作成し、研修や訓練を行っていま す。今後、ホームページに掲載する予定で す。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな 連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いますか。	18	1			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20					家以外で安心して通える所がありと てもありがたいです。	引き続き、安心感を持って通ってもらえるよ うな支援をしていきたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20					とても楽しいようです。	楽しみにしているとの声を頂きありがたく思 います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					就労に向けての様々なトレーニングをして頂 きありがたいです。 色々な所へ連れて行っていただき感謝とい っぱいです。 とても満足です。	皆様から頂いたご意見を参考にし、職員皆で より良い支援が出来るよう今後も考えてい きたいと思っています。

従業者向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		利用人数が多い日は狭いと感じる事もありますが、公園や散歩などにも行くので、常に全員が室内の同じ部屋にいる状態にはなっていません。個別課題や製作は学習室で行うなど、それぞれの活動に合った部屋で活動をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	送迎対応や利用人数により、足りないと感じる時があったり、全員での外出が難しい時もありますが、日々、基準を満たした職員で対応を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		建物の構造上やむを得ない階段や段差などは、職員が付き添って安全に配慮をしています。情報伝達は障害の特性に応じて、1日のスケジュール表を作ったり、絵カードや写真などを提示するなどしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		子どもたちが帰った後に、室内・外玄関・おもちゃ・個別課題の備品・車などの掃除とアルコール消毒を毎日行っています。また前述の通り、それぞれの活動に合わせた空間になっています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		もう少し落ち着いて過ごせるような個別の空間があると良いと思いますが、自由時間はそれぞれ子どもたちが過ごしたい部屋や場所で過ごしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	4	「振り返りと今後に向けて」というシートを作成し、非常勤を含む全職員に振り返りと目標設定を実施しています。会社全体で組織としての目標設定や振り返りを行った方が良いと思うという意見もありました。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		今年度も厚労省の様式を用いてアンケート調査を実施し、職員で話し合いました。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	「振り返りと今後に向けて」というシートや日々の打ち合わせの中でも職員の意見を把握する機会を設け、業務の改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	第三者評価委員会には依頼しておりません。保護者・事業所の二者評価とさせて頂いております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	支援時間と重なってしまうと参加出来ない研修もありますが、非常勤職員にも周知し、研修機会を確保しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		作成した支援プログラムをホームページに公表しています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		一人ひとりの状況や課題を把握できる内容の様式にし、それをもとに個別課題支援計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	個別支援計画を作成する前に、児童発達支援管理責任者以外の職員も事前に計画を確認し、その上で作成している。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		職員間で周知している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	アセスメントツールはあるが、活用は出来ていない。言語聴覚士による発達や言語などの評価のもとに職員の話し合いで対応を考えている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインの内容を踏まえ、保護者との面談・児童の状況を鑑みて作成を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		子どもたちの状況を踏まえつつ、活動内容の立案を職員会議で決定しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		言語聴覚士の助言・指導なども取り入れ職員で考えながら取り組んでいます。帰りの会のプログラムも1週間を通して行う事で、理解や習熟も進んでいきます。製作も季節感を味わえるよう工夫して行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		課題や作業などの個別で活動する時間と、集団で活動する時間があります。集団活動の中でも順番を待ったり、他の子の活動を見守る事で集団参加に繋がります。職員もそういう事を意識して取り組んでいます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝の打ち合わせでは、利用児童の確認・送迎スケジュール・個別内容・その他支援内容・役割・申し送り事項などを話し合っています。午後からは非常勤職員も含めて話し合いを実施しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	送迎時を含めたその日の児童の状況を話し合い、支援内容の反省を行なっています。それを日誌などに記録し、翌日への申し送り事項として対応しています。非常勤職員は終業時刻がそれぞれ違うので反省などを聞き取る他、メモなどで報告をしてもらっています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	児童の状況は個別の記録、日誌、送迎表に記録しています。全体での状況や電話、面談、反省、改善点、申し送り事項も日誌に記録しています。また、電話連絡などをして情報を共有しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年ごとの面談において、モニタリングを行い見直しています。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		ガイドラインの総則では、基本活動に示された4つの活動を組み合わせ支援を行うことが求められています。まいまいでは、それらを組み合わせ活動を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	おやつや個別課題など、活動の中で、自己選択が出来る機会を作り、自己決定する力を育てています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		職員全体の意見も聞き、担当職員が参加しています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	TMG朝霞医療センターと連携をし、万が一の事故や病気などの際は、対応してもらう体制をとっています。また、発作時の対応方法や主治医の意見書を保護者の方を通じて頂いています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校のホームページを確認したり、学校からの配布文書を保護者の方を通して頂き確認しています。送迎についての学校主催の会議などには参加しています。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	まいまい2・まいまい3では、該当の情報共有は行っておりません。まいまい1では、相談支援事業所を介して行う他、直接保育所に出向き、子どもの様子を見学し、情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	保護者の方が福祉サービスに伝えたり、要請があれば、情報共有を行なっています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	地域の児童発達支援センター主催の研修などに参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	地域の他の子どもと一緒に活動をする機会は少ないですが、児童センターなどに行く機会を設けています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9		朝霞市の精神部会とこども部会に任命された職員が参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎時、電話、LINE、面談時に伝えています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	ペアレントトレーニング指導者養成研修修了者がいるので、面談などの助言に活かしています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時や面談などで説明を行うとともに、利用案内、利用者負担などの文書でもお伝えしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		日常の活動の中で、子どもの意向を確認したり、面談時に保護者の方からの意向を確認しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		面談時に個別支援計画を示しながら説明を行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		連絡帳や送迎時、電話、LINE、面談などで随時、対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9		卒業生の保護者の講演会を開催しました。今後の状況をみて、保護者参観や親子レクリエーションなども開催して、連携の支援を行っていききたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	苦情受付担当、解決責任者を選任し、契約時にお伝えしております。問い合わせや苦情などを受けた時は、すぐに状況を把握し、文書、電話、面談などで対応出来る体制を整えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		週の活動を紹介する「今週の活動」の他、「まいまいだより」などで行事や製作活動などの紹介をしています。また年度当初には、利用マニュアルを配布しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報は鍵付きの書庫に保管しています。またそれが外部に出る事がないように、全職員と契約書類を交わしています。今後も十分に配慮していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		子どもや保護者の方の状況に応じて絵カードや写真など、視覚的な情報伝達方法などを使用したり、配慮をしています。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	地域住民を招待するなどの行事は行っていません。地域清掃やお祭り、イベントなどには参加しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	各マニュアルについては、室内に掲示したり、職員研修も行っています。今後ホームページに掲載する予定ですので、ご覧ください。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	非常災害に備えた業務継続計画を策定し、室内に掲示しています。今後ホームページに掲載するので、ご覧ください。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		医師からの指示を保護者の方を通して情報を頂き、職員で共有し、対応をしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	4	医師からの指示を保護者の方を通して情報を頂き、職員で共有し、対応をしています。アレルギー表を作成、掲示し、アレルギーのある子どもが利用する日は、他の子にもアレルギー物質を含んだおやつは提供しないようにしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、室内掲示をしている他、研修や訓練を行っています。今後ホームページに掲載する予定ですので、ご覧ください。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	安全計画に基づき避難訓練などを行っています。その様子を連絡帳やおたよりでお伝えしています。また安全計画については、今後ホームページに掲載する予定ですので、ご覧ください。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット事例やケガなどの事故事例が発生してしまった時には会議を開催し、対応や改善策を協議すると共に、報告書を作成し、職員に回覧し、周知をしています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		計画を立てて、事業所内、県の研修に参加しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		現在やむを得ない身体拘束に該当する児童はいません。パニック時の対応方法については、保護者の方と相談して決めます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまいまい1		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 12日		R6年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	R7年 2月 26日		R7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の障害特性に合わせた対応をチームとして行っている。	児童の状況・対応を日々、共有している。 些細な事もホウレンソウをしっかりと行っている。	研修などで職員一人一人のスキルアップ。
2	子どもたちが楽しく通っている。 安全面の配慮が出来ている。	良い行動が出来た時はしっかりと褒める。 個別・グループに分けて外出する際も、集団で行く際も安全をしっかりと配慮した配置になっている。	良い行動を見逃さないように全体で見守る。 職員の確保と一人一人のスキルアップ。
3	子どもたちに選択機会を多くつづけている。	おやつメニューや1日のスケジュール管理など、子どもたちに選択をしてもらっている。	しっかりと自分の意思をしっかりと選択出来るように継続していく。 たくさんの中から選ばない子は2択などにしたり、工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	作業療法のような専門的な支援が出来ない。	専門的な支援を行う専門職がない。	専門的支援を学んで、現職員のスキルアップ。 以前、作業療法士の先生が来ていた際のアドバイスを掘り返したり、作業療法士との繋がりを作る。
2	外出場所が限られてしまう。	小学校低学年や重度の子どもも多いので、外出場所が限られたり、全員で外出する事が難しい時がある。	職員の確保とスキルアップ。

3	非常勤職員が打ち合わせに参加出来ない事がある。 引き継ぎが難しい。	支援中に情報共有するのは難しい。 利用している子どものメンバーが曜日によって違うので、固定でシフトに入れないと、引き継ぎが難しかったり、慣れるまでに時間がかかる。	日誌のほか、伝言板やLINEなどで伝えられると良い。 なるべく固定のシフトに出来るような職員配置の工夫
---	--------------------------------------	--	--

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまいまい2		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 12日		R6年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38 (回答者数)	28
○従業者評価実施期間	R7年 2月 26日		R7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが充実している。	・個々に合わせた内容の学習や季節に合わせた製作、週ごとに替わる帰りの会のプログラム、季節行事、公園で身体を動かすなど短時間でも充実できるように考えている。	・プログラムの振り返りを行い、より良く変化させたり、マンネリ化しないように考えていく。
2	・経験豊富な職員、学生や若い職員などと組み合わせで職員配置ができています。 ・職員間で情報共有ができています。	・職員に細かいマニュアルを配布している。 ・始業時や終業時に打ち合わせや振り返りを行い、情報共有をしている。	・始業時間が遅い、非常勤職員にも情報をしっかり伝える。
3	・保護者と情報共有や相談、情報提供ができています。	・連絡帳だけでなくLINEなどで児童の状況を伝えている。 ・今週の活動等で活動のねらい、様子を写真付きで伝えている。 ・定期面談の他にも相談を随時している。 ・卒業生の保護者を招いて就学就職の情報提供や将来への相談を行える機会を作り文書でも配布している。	・保護者会などの回数を増やしていく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員が一人ひとりの子どもと関わる時間が少なくなる時があり、子どもの思いを聞けていない。 ・子ども自身が選択できる機会が少ない。	・送迎や外出などで職員の出入りが多くなっている。 ・活動プログラムに時間がかかり、自由時間が少ない時がある。 ・外出先やおやつなど決めた物を提供することが多く、選択する機会が少ない。	・プログラムや職員配置の見直しをして、一人ひとりの子どもと関わる時間を増やしていく。 ・選択できる機会を増やしていく。
2	・支援をする上で専門的なアドバイスができていない。 ・言語療育は実施しているが、作業療法など専門的な支援ができていない。	・支援する子どもに対して職員が固定してしまっている。 ・以前いた作業療法士が退職してから補充ができていない。	・支援中にアドバイスする機会を多くして実践し、経験を積んでいく。 ・専門的支援を学んで、現職員のスキルアップを行う。以前、作業療法士の先生が来ていた際のアドバイスを振り返ったり、作業療法士などの専門家との繋がりを作る。
3	・非常勤職員が打ち合わせに参加できず、情報共有ができていないことがある。 ・児童一人ひとりの状況や特性などを十分に伝えきれない。 ・一人ひとりの職員の考えや思いを話せる機会が少ない。	・支援に入ってしまうと情報共有するのは難しい。 ・利用している子どもが曜日によって違うので、伝えきれない。 ・児童の状況の詳細を伝えたり、それぞれの支援に対する意見をじっくり話し合う時間を十分に設けられていない。	・児童状況表などを作成し、職員会議等で共有していく。 ・職員会議の他に職員面談などの機会を多くしていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまいまい3		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 12日 ~ R6年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	R7年 2月 26日 ~ R7年 3月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	好きなことをする時間と作業をする時間のメリハリがしっかりと出来ている。	子供達が上手く切り替えができるように自由時間の過ごし方や声掛けのタイミングに気を付けている。	継続していく。
2	子どもたちが楽しく通っている。 子供達の思いを汲んだ活動が出来ている。	良い行動が出来た時はしっかりと褒める。 日々コミュニケーションをとり、些細な会話からもしっかりと聞いて聞かせるようにしている。	良い行動を見逃さないように全体で見守る。 全職員で子供たちと積極的にコミュニケーションを図っていく。
3	中高生対象に行っているため、課題が絞りがやすい。	年齢を中学生からの受け入れにしているため、子供たちもお互いに付き合いやすく、課題が見えやすい。 子供同士でも注意喚起をしてくれていて、職員が声をかけるより効果的である。	来ている子どもたちがより、仲良く過ごせるよう職員が仲立ちをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実際の作業所ではないため、作業材料や、完成品に対する扱い方の意識をさせるのが難しい。	実際の作業所では、材料、完成品は商品で売り物となるが、そういった所を理解せさせるところが難しいため、扱いが雑になってしまう。	その都度、雑に扱わないように声替えをしたり、置き方に工夫をしていき一つずつ意識していけるよう支援する。
2	職員体制がギリギリの為、代わりがないため配置が困難。 職員の平均年齢が高い。	職員の急な休みがあった場合、補充がきかないことが今後出てきそうで、そうなった場合は休所するしかなくなっている。 ベテラン職員で普段の対応は良いのだが、今後を見据えた時に先細って行くのが分かる。	新しい職員を募集し、育てていく環境を構築すること。 若い職員を積極的に雇っていく。

3	送迎の兼合いで職員が事業所に少ない時間ができ、より細かな対応が出来ないところがある。	どうしても送迎があつての事業所なので、無くすわけにはいかないが、人手が足りていない。	送迎をしてくれる職員を増やす。学校送迎数を減らすように組む。
---	--	--	--------------------------------